

## 工場見学会のご報告

### 新規事業委員会

令和7年1月23日(木)、当組合、新規事業委員会の企画により、日本製鉄(株)関西製鉄所和歌山地区和歌山工場(和歌山市湊)の見学会を行いました。組合員企業13社23人の方にご参加いただきました。

当日、昼に長堀橋駐車場に集合し、チャーターバスで見学先へと向かいました。

到着後、構内のPRセンターにて、工場のビデオや施設の概要のレクチャーを受けた後、バスに乗り込み、3つの工場を見学しました。

関西製鉄所和歌山地区は、和歌山、海南、堺の3地区から構成され、銑鋼一貫製鉄所です。石油掘削、天然ガス開発用のシームレス鋼管、建築用構造材のH形鋼、ハイパービーム、土木・港湾工事用の鋼矢板等の製造や鋼材用素材の供給を行っています。

和歌山工場は、470万平米の広大な敷地(甲子園球場の117個分)に、製銑、製鋼、製管、形鋼、製版各部門の施設があり、協力会社を入れて1万3千人が働いています。鉄鉱石と石炭はオーストラリアから輸入し、専用岸壁から構内に搬入しています。構内には自動運転のディーゼル列車が走り工場内に製品を運搬しています。バスで工場間を移動する間も多くの車や、列車が走り、信号もあり、一つの街を走っている感覚です。シームレス工場、スラブ工場、1号高炉工場跡を見学しました。シームレス鋼工場では、真っ赤に焼けた鋼材が、鋼管に加工される過程を見学しました。広大なほぼ無人の工場

で産業の基幹製品が製造される過程を直に見学出来、感慨深いものがありました。出来上がったシームレス管は殆どが海外に輸出されるとのことです。稼働中の2号炉は見学できませんでしたが、旧1号炉では、鉄鉱石、石炭、コークス、スラグ、銑鉄など見本を持ち帰ることが出来ました。その後、PRセンターへ戻り、活発に質疑応答が行われました。約2時間の興味深い見学を終え、夕刻に長堀橋にて解散しました。また、このような視察会を企画したいと思いますのでご要望等ございましたら、組合事務局までお寄せください。



